

平成26年2月6日

せんげん公園支隊情報・広報班

立春も過ぎ、あちこちから梅の香りも漂ってくる季節となりました。もうすぐ暖かな日差しの降り注ぐ春が来ます。皆様、お元気のこととお喜び申し上げます。支隊便り第8号をお届けします。

## 1 2月の活動予定

- ① 2月11日(火)と2月12日(水) 9:30~11:00 家庭用消火器の申し込み受付  
場所は小川会館です。お釣りのないようお願いいたします。なお、アンケートで希望を出さなかった方で、申込みをしたい方も当日代金を持参されれば申込みできます。(4型:4100円、6型:4600円)
- ② 2月16日(日) 消火器の引き渡し せんげん公園にて10時から (引換券を持参してください)
- ③ 2月8日(土) 第4回救出・救護班会議 ④ 3月2日(日) 救出・救護班主催の救出・救護訓練
- ⑤ 2月10日(月) 第12回せんげん支隊 支隊長会議

## 2 アンケート調査ご協力の御礼

1月末に行った2種類のアンケートに対し非常に多くの皆様のご協力をいただきました。回収率はおおよそ55パーセント、消火器の発注希望者は75名に達しました。防災意識の高まりと言えるでしょうか。

来年度の支隊組織に関するアンケートでも、非常に多くの方が隊員として参加してもよいとお答えいただきました。2月下旬から直接お願いに参ります。その節はよろしく申し上げます。

## 3 感震ブレーカーとは

支隊便り第7号に続いて感震ブレーカーについて書いてみます。

感震ブレーカーの主な種類

- ① 分電盤タイプ 家庭の分電盤に、一定の震度(概ね震度5強以上)を感知して電気を遮断する機能が付いたもので、基本的に全ての電気が遮断されます。電気を使用する医療機器がある家庭などでは注意が必要。(要工事、約100,000円)
- ② コンセントタイプ  
家庭のコンセントに差し込むタイプと、既存のコンセントと取り替えて埋め込むタイプ(要工事)などがあります。基本的には個別のコンセントの電気を遮断するため、電気ストーブや観賞魚用ヒーターなどの電熱器具を接続する箇所への設置が適しています。東電が共同開発した商品名「グラッとシャット」は、親機子機のセットで約20,000円、工事不要です。詳しくは東電にお問い合わせください。
- ③ 簡易タイプ

家庭の分電盤に貼り付け、一定の震度によりおもり玉が落下することでブレーカーを遮断するものなどがあります。比較的安価なものが多く(3,000円くらいから)工事は不要です。

- \* 設置に当たっての注意 分電盤タイプなどのように地震発生時に家庭内の全ての電気を遮断するものについては医療機器への影響に注意が必要です。また、夜間に地震が発生した場合照明が消えることで屋外への迅速かつ安全な避難の妨げともなるので、非常灯の用意も必要です。

## 4 煙感知器とは

アンケートにも登場した煙感知器とは、火災時に発生する煙を検出する感知器です。煙は、火災が本格化する前に(3分以上前に)発生するために、煙感知器で警戒することにより、火災の早期発見に効果を発揮します。万一の場合の初期消火のためにも設置をお勧めします。